

学校だより



ひかわ



校訓 洗心・奉仕・鍛錬

令和2年度
氷川中学校
令和2年5月7日
第2号 文責 里永典隆

学校休校延長 一層の感染予防を！

早いもので5月を迎えました。始業式、入学式後、3週間の学校休校が続きましたがどのように家庭生活を送っていたでしょうか。5月7日からの学校再開を心待ちにしておりましたが、感染防止の点から再度5月31日までの休校延長となりました。さらに家庭学習の期間が続きますが、5月からは家庭学習を計画的に進めやすくするために、学校からの課題は時間割方式にしました。課題を示した基本的なスケジュールを配付しますので、それをもとに進めて欲しいと思います。また、家庭の都合などで計画通りに進められない場合は、変更しても構いません。大切なことは、規則正しい生活リズムと家庭学習の維持・継続です。生徒の皆さん一人一人がしっかり取り組んでいくとともに、保護者の方には見守りをお願いします。

本年度の氷川中の教育 「命を大切に」教育を基盤に「生きる力」を育む

本年度、4月の始業式と入学式で生徒の皆さんに伝えたところですが、一番大事にして欲しいこと、しっかりと考えて欲しいことは「命の大切さ」です。新型コロナウイルス感染が拡大している事も踏まえ、自分の命を守るとともに、まわりの人の命も守ることも考えて欲しいということを話しました。このことを基盤として、校訓「洗心 奉仕 鍛錬」のもと、次のような学校教育目標を立てて教育活動を進めていきます。

<学校教育目標>

「『氷川中プライド』をもち、社会人としての基礎力を身に付けた生徒の育成」
～小中連携を図り、自己有用感を高める生徒の育成を通して～

現代社会はグローバル化の進展や技術革新、AIの進化など急速な社会の変化が進み、予測困難な時代といわれます。また、中学校3年間は心身ともに大きく成長する時期です。中学校を卒業するとき、これからの社会を生きていくために必要な力（社会人としての基礎力）を身に付けて欲しいということからこのような目標を設定しています。その中でも次に挙げる三つの力を身に付けて欲しいと思っています。

<特に身に付けて欲しい資質・能力>

先見力：予測困難な社会、また、日々の生活の中で、これからの状況を見通し、予測する力
段取力：最善の方法で最善の結果を導くためにどのような道筋で解決していくかを考える力
対応力：困難な場面に直面した際、あらゆる状況に対して主体的に対応していく力

この三つの力を育成するための基盤となる「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成していくために、氷川町で進められている「ひ・か・わ」型学習、ICT教育、さらにキャリア教育と防災教育を中心に、小中連携を図りながら自己有用感を高める育教育活動を行っています。さらに氷川町が目指す子ども像「ふるさとの大地に輝く氷川っ子」を達成するために、保護者、地域の方々と連携し、地域とともにある学校づくりを進めていますので、これからもご支援、ご協力をよろしくお願いします。

登校日の様子 4月27日

1週間ぶり子供たちの声が帰ってきました。写真は4月27日の登校日の様子です。昇降口横で健康チェック。教室では各教科の先生から課題の確認と次の課題の説明がされました。早く学校が再開され、活気のある学校生活が戻ってきて欲しいと思います。なお、5月の登校日は毎週木曜日となります。(14、21、28日です)



【昇降口での健康チェック】



【1年生の教室の様子】